

# 経済建設委員会会議録

平成25年4月8日 13時00分 開会  
13時23分 閉会

網走市議会

午後1時00分 開会

○佐々木委員長

ただいまより、経済建設委員会を開会いたします。

本日の委員会は天都山展望台及びオホーツク流氷館建替基本構想についての議件1件でございます。

天都山展望台及びオホーツク流氷館建替基本構想について説明を求めたいと思います。

○田口観光部長

天都山展望台及びオホーツク流氷館建替基本構想につきまして、御説明させていただきます。

基本構想の策定につきましては、昨年11月に基本構想の案をお示しいたしまして、議会におきましては、種々御議論をいただきまして、また市民の皆様には、市民説明会、広報誌、ホームページ、まちづくり住民懇談会等で御説明をさせていただきまして、御意見をいただいているところでございます。これ以外の機会におきましても、いろいろな機会でご当部におきましても、御説明、また御議論いただいたり、御意見をいただいているところでございます。

今回、これらの議論、それから意見を踏まえまして、基本構想を確定いたしましたので、報告いたします。

初めに資料1をごらん願います。

議会議論につきましては御案内のとおりでございますが、市民の皆様御意見の概要をまとめた資料でございます。

1. の市民説明会での意見につきましては、本年1月21日に開催されましたとおり、委員会で御説明させていただいておりますが、2. 広報誌、ホームページに対する御意見、次のページ3. まちづくり推進全体会議での御意見についてでございますが、それぞれ御意見いただいております、その概要について記載しております。おおむねの意見ですが、構想(案)の内容につきましては抽象的な表現が多くて詳細の検討が欠けているのではないかという御意見があったこと。それから建てかえ後の入館者の見込みにつきまして

御意見を種々いただいているところでございます。

次に、資料2をごらんください。

議会議論、市民の皆様御意見等を踏まえた上で、基本構想をとりまとめて、前回示した案から変更した部分を抜粋した資料でございます。

ページを開いていただきまして、2ページ目、3ページ目という形になるわけでありましたが、左側が基本構想案ということで、今までお示していたもので、右ページが今回の取りまとめをしたという形になってございまして、右ページに下線が引いてある部分に変更した部分でございます。

初めに3ページ、右側のページの概算工事費の想定の部分では、既存施設の解体費、外構整備費にかかる説明を加えているところでございます。撤去費については議会の中でもお示ししておりますが、概算費用は6,000万円というふうに見込んでおりまして、また外構整備費用につきましては建物周辺の具体的な整備内容、基本計画設計の中で合わせて検討していくという記載内容でございます。

次、開いていただきまして、右側5ページ目ですが、想定入館者数の部分でございます。このページ自体に変更はないのですが、ページを開いていただいて、7ページに建てかえ初年度の入館者数20万人の試算の考え方を加えさせていただいております。これにつきましても、これまで御説明を申し上げましたが、それぞれの属性に基づいてどういう形で、どういう考え方で試算しているのだということはこの部分に付け加えさせていただいております。

次にお開きいただきまして、9ページでございます。

中段の「管理運営費にかかる収支の見込み」についてでございますが、この部分の入館者数の将来推計について、いろいろ御意見のあったところでございます。これも考え方としてはこれまでお話しさせていただいてございますが、この部分では管理運営費から見た運営の持続可能性という観点で、収支見込みを検討するために入館者数を

想定しておりますことから、これにつきましては入館者数の推移は厳しく見込んでいるということを改めて記述をさせていただきました。

続きまして、11ページでございますが、若干の修正のほかに建てかえ後のリニューアルにつきまして、その目的はリピーターの確保という部分もありますが、施設の話題性という視点を追加させていただいております。

続きまして、13ページでございます。

これも今回付け加えさせていただいたページでございますが、厳しく見た推計は推計として見るけれども、それ以外に一定期間経過後にリニューアルした場合の推計をした収支シミュレーションを追加してございます。

前段、将来推計を厳しく見込んだものに対しまして、そのシミュレーションにつきましては、積立金を財源にリニューアルを実施したという想定で、一定の条件のもと、その影響を反映させたシミュレーションということになってございまして、概ねの前提条件としては、網走市観光全体の入り込みを現在の水準と想定しまして、入館者の入り込み基調として、初年度の20万人の入館者数のうち、外国人を除いて当初の5年間は毎年5%減少、その後おおむね3%減少するものと基本的なトレンドとしては想定しておりまして、5年目、10年目、15年目、20年目、ここの想定では5年ごとに積立金を財源にそれぞれ一定の施設展示のリニューアルを実施すると。このことによりまして、対前年比で6年目でおおむね5%、11年目でおおむね10%、16年目でおおむね5%の増加を想定した上でのシミュレーションでございます。

その下でございますが、一番下の施設入館者数の目指すべき姿というものを追加しております。

これもいろいろ御意見を反映したものでございますけれども、ここに示した二つのこれまでのシミュレーションしたときの入館者数は、先ほども申し上げましたとおり、施設の運営の持続可能性から見た検討でございまして、目指すべき姿というものは、当然少しでも多くの入館者数を目標

として、外部環境や観光客のニーズの変化に対応したさまざまな取り組みを戦略的に実施していくということを改めてここで記述させていただいております。

開いていただきまして15ページになります。案のほうにはなかったのですが、これも委員会の議論の中でいただいた部分でございまして、この建てかえよっての経済効果を一定の前提で試算したものをここに付け加えております。

最後に一番下段になりますが、おわりにというところを付け加えておりますが、この基本構想につきましては、建てかえにかかる基本的な大きなフレームを検討するという位置づけになっておりますことから、市民の皆様からいただいているような抽象的な部分が多くなっておりますが、このことについて御意見があったところを認識しておりますことから、これらの意見を踏まえて、具体的な部分につきましては、今後の実施設計までの段階の中で整理していくということを改めてこちらのほうで記述させていただきまして、そこで御意見などにつきましては検討していくという考え方で、最後におわりにを付け加えております。

最後に資料3といたしまして、今回取りまとめた基本構想を全ページにわたって添付しておりますので、後ほどごらん願いたいと思います。

以上が、天都山展望台及びオホーツク流水館建替基本構想の取りまとめの報告です。

以上です。

#### ○佐々木委員長

皆さんから質問等ございましたら。

#### ○平賀委員

基本的には会派のほうに持ち帰らせていただいて、協議していきたいと思うのですが、資料2で変更点、加筆されたところがいろいろあるというふうに思いますが、基本的なことだけ確認させてください。

13ページに外国人は毎年増加するものとしていますが、これはなぜ増加するのか、根拠がある

のでしょうか。

教えていただきたいと思います。

#### ○田口観光部長

それにつきましては、基本構想案の中でも同じような形で外国人は毎年1,000人ずつという見込みを立てておりますが、東南アジアも含めまして、今後まだまだ外国人が北海道観光、そして道東観光へ来ていただけるという見込みの伸び代はまだまだございますので、そういった部分について世界との競争における流水という素材を展開していくことによって、外国人の来網についてもふえていくということを想定していくというところであります。

#### ○平賀委員

考え方については理解しました。

それから15ページですけれども、経済効果の試算というのは記載されるということは意味のあることだろうというふうに思いますが、初年度の経済効果が一番最後に単年の観光消費額と、経済波及効果として載っているのですけれども、初年度だけに限った理由は何かあるのでしょうか。

#### ○田口観光部長

これにつきましては、一定の効果を平成18年度の調査した観光動向調査という一定の数式に当てはめて想定している部分でございまして、ずっと出すのであれば先ほどの運営計画のシミュレーションという同じような形での、一定の数式に基づいているということになるのですが、それ以降を出してもあまり全体に対するインパクトという部分では初年度の部分でいいのかなというふうに考えております。

#### ○平賀委員

13ページの表と比較して考えると、ランニングコストとの対比というのもできるのだろうと思うのですけれども、この経済波及効果の試算はランニングコストの対比のことについては触れられていないのですが、それも示していく必要が多分あるのではないかなと思うのと、それと合わせてやれば経済波及効果の後、初年度以降で比較すると、インパクトの面では、むしろ逆にあるので

はないかなと思うのですが、その辺の考え方はどうですか。

#### ○田口観光部長

ここに書いてありますのは、いわゆる経済効果という部分では、観光客が入るか入らないかの部分を機械的に算定しているというものでありまして、また逆にそのコストという部分では、消費という経済的に考える、それも一つの消費だというふうに考える、そこは切り分けて考える必要があるのかなというふうに思います。

いわゆる経済効果というのは、そのことがあるのとないのとでの効果の比較なので、一般的にはこの入り込みに係る機械的な試算ということで想定しているということで、このような形になっています。

#### ○平賀委員

いずれにせよ基本構想の案は事前に一定のやりとりはしてきているのですが、新しく変わった点も多いので、ここは会派で議論してから改めて機会をつくっていただきたいと私としては思います。

#### ○佐々木委員長

また改めて開いていただきたいということで聞き置っておきたいと思いますが、そのほか質問はございますか。

#### ○近藤委員

この基本構想に関しては、案を示していただいた段階から経済建設委員会を開いて、市側にこういうところに若干疑問が残っていますというようなお話をさせていただく中で、今回の確定版が出てきまして、その撤去費用がどうなのかとか、入館者数の入り込みを厳しめに見積もっているのはなぜなのかとか、リニューアル効果の推計であるとか経済効果の試算とか、非常に具体的にいろいろと示していただいて、より説得力のある基本構想ができてきているのかなというふうに思っております。

今後のスケジューリングもここに書かれておりますけれども、やはりこれまでたびたび議論をさせていただいている中で、流水館が現行のまま

あればあるほど網走の観光のイメージといえますか、流氷館を訪れた人がこんなに古い施設をいまだに使っているのかという印象を持たざるを得ないという状況もあるので、しっかりとした計画を作っていただくということも必要ではあるのですけれども、スピード感を持って、建てかえに向けたスケジュールを進めていただきたいと思います。そのあたりのお考えを伺いたしたいと思います。

#### ○田口観光部長

おっしゃられましたように、種々御議論いただいております。ここで建てかえるという基本的な方針を取りまとめたということでございますので、そういった意味では次の段階、最終的なその建てかえのオープンというのはその効果が出る機会は短ければ短いほど、早ければ早いほどいいわけでありますから、丁寧な進め方をした中でも、やはり少しでも早いオープンというのを目指していかなければいけないということございまして、スピード感をもった取り組みをしていきたいというふうに考えております。

#### ○佐々木委員長

そのほか質問ございましたら。特にございませんか。

(「なし」の声あり)

#### ○佐々木委員長

それでは流氷館建替基本構想につきましてのきょうの説明は以上で終わらせていただきたいと思っております。

先ほど平賀委員から、改めて質問する場を設けてほしいということでしたので、また機会を考えて設けたいと思っておりますので、きょうはこれぐらいで終わらせていただきたいと思います。

理事者側からそのほか案件ございますか。

委員のほうから何かありますか。

(「ありません」の声あり)

#### ○平賀委員

これと関連するものとして、観光基本計画の見直しがあると思っておりますが、その進捗状況もこの計画を進めるのも大事だと思っておりますが、その辺は

今どういう状況になっておりますか。

#### ○田口観光部長

基本計画につきましても、前段アクションプランなり、立てていく部分におきましても、網走観光の今置かれている部分を十分調査しなければいけないということで、今別途専門的な知見を持った方々、コンサルティングの事業者はその部分をきっちり精査をしていただいているところございまして、それがまともな次第、関係皆様といろいろな機会を持ちながら組み立てていくと、当然この天都山展望台及びオホーツク流氷館との整合性というものも認識しながら、この天都山展望台流氷館と網走市観光全体が相乗的な効果を持ちながら、両方とも活性化していくというような方向を目指したものにしていきたいというふうに考えています。

#### ○平賀委員

あくまで仮定の話で恐縮なのですが、基本計画の中で出てきている数字がどのようなものになってくるのかを含めて、どんなものが出てくるかで変わってくるのですけれども、それによって例えば基本構想と若干そごが出てきたという場合は、基本構想を多少変更してでも次の基本設計だとか、そういうのに至る段階についてはきちっとあわせて修正を図っていくという考え方を持っているのでしょうか。

確認させてください。

#### ○田口観光部長

基本構想につきましては、これまで申しましたように全体的な大きなフレームを考えてということでございまして、今後基本計画、基本設計に入っていく部分におきましては、もっと細かな、どんな機能が何のために必要なのだともっとブレークダウンした分析をしていかなければいけないと思っております。

それにつきましての、整合性を観光基本計画の中でも考えていかなければいけないですし、大きく変わるということは、当然基本構想の中でいいかげんに分析しているわけではございませんので、大きな部分については、客観的な数値を持つ

てお示しをさせていただいておりますので、それ自体が変わるということは、たぶんないだろうというふうに思っております、そこをブレイクダウンしたときの詳細な部分につきまして、観光基本計画と、この建てかえの基本計画設計との整合性をとっていくということでございます。

**○佐々木委員長**

よろしいですか。そのほか。

**○大澤副市長**

きのうの暴風雨関係のことで、当市の対応について若干ふれておきたいと思っておりますけど、昨日、朝の5時35分に暴風警報、それから大雨注意報が出されております。

それで災害担当の総務課、土木管理課を中心に職員の招集をかけまして、それぞれ点検、それから大きな被害はありませんでしたけれども、一部現場対応等直営で行ったところでございます。

市道関係で若干、市道の一部に冠水がございましてポンプアップにより水を除去するといったことですか、それから卯原内の神社付近で若干の土砂崩れ等もございました。

これらもありまして、現場対応をやっているというようなところであります。

全道、全国で大きな被害も発生しているようでもありますけれども、当市におきましては、ただいま申し上げました市道の一部の冠水と、それから若干の土砂崩れ程度の状況でございました。

**○佐々木委員長**

それではそのほか。

(「なし」の声あり)

ございませんようでしたら、以上で経済建設委員会を閉会いたします。

午後1時23分 閉会